

令和6年9月18日

那須烏山市議会議長 青木敏久様

経済建設常任委員会委員長 福田長弘

決算審査結果報告書

本委員会に令和6年9月9日に付託された事件は、審査の結果、次のとおり決定したので、那須烏山市議会会議規則（平成17年10月那須烏山市議会規則第1号）第109条の規定により報告します。

1 審査期日 令和6年9月10日（火）及び11日（水）

2 審査場所 那須烏山市役所 南那須庁舎 議員控室

3 出席委員 福田長弘、相馬正典、青木敏久、渋井由放、中山五男

4 説明のための出席者

農政課長 深澤宏志、商工観光課長 星貴浩、参事兼都市建設課長 佐藤光明、
上下水道課長 石嶋賢一、他関係職員

5 審査事項

本委員会の所管する農政課、商工観光課、都市建設課、上下水道課及び農業委員会の
令和5年度那須烏山市の一般会計、水道事業会計及び下水道事業会計の歳入歳出決算

6 審査結果

本委員会が付託を受けた一般会計、水道事業会計及び下水道事業会計の決算については、全会一致で原案のとおり認定すべきものと決定いたしました。ただし、次のことについて要望し、意見を付することとします。

農政課

- ・園芸振興対策について、簡易施設（パイプハウス）設置費及び果樹棚の購入費を助成する制度を創設し、新規栽培や規模拡大を志向する生産者を支援したことは評価する。今後も意欲ある農業者を積極的に支援し、収益性の高い農業の拡大に努められたい。
- ・担い手対策について、農業従事者の高齢化や後継者不足、離農による遊休農地の拡大等は喫緊の課題であり、新規就農者の獲得は極めて重要である。就農前から就農後も切れ目なく、きめ細やかな支援を展開するため、支援体制の充実を図られたい。

- ・雑草問題については、高齢化が進む中山間地域の住民の大きな負担となっており、令和2年度から続く産官学による里地・里山再生プロジェクトにおいて得られた知見は市内全域に波及すべきものとする。事業主体と連携し、他の地区でも活用できるよう体系化に努められたい。
- ・農道台帳の整備については、地方交付税の投資的経費の補正措置が講じられるだけでなく、農道を管理する上で欠かせないものであるため、適正に作成及び管理されたい。

商工観光課

- ・キャッシュレス決済推進事業について、市内外の多くの方に利用いただき、物価高騰による影響を受けた市内事業者や市民を支援する試みとなったことは大いに評価する。これを一過性の取組にすることなく、検証を重ね、次の事業に反映されたい。
- ・企業誘致については、市内経済の活性化と新たな雇用の創出に資するため、これまで以上に積極的に取り組むとともに、市内の既存立地企業の育成・支援についても十分配慮し、新規立地企業の誘致との相乗効果による更なる成果の導出に努められたい。
- ・なすからブランドについて、認証から5年以上が経過した商品もあることから、認証後の継続的な効果が十分に発揮されているか改めて検証し、認証候補の育成と併せて新たな施策の展開を図られたい。

都市建設課

- ・ふれあいの道づくり事業については、地域に密着した生活道を住民の手により整備する市民協働の事業であり、道路愛護の醸成に寄与し、地域住民からの要望も多いことから、より一層の普及促進を図るとともに、作業の安全確保における指導を徹底されたい。
- ・防災集団移転促進事業については、前例のない事前移転事業であり、国との調整・協議に時間を要するとは思われるが、地元住民の不安は計り知れないため、スピード感をもって的確かつ丁寧な対応に努められたい。
- ・住環境の整備に係る各種助成制度については、多様なニーズを聴き取り、安全安心で快適な住環境を本市で整備してもらえるよう、制度の更なる充実に向けて調査研究を図られたい。

上下水道課

- ・有収率の向上について、本市の水道事業の事業規模からして大規模な管路の布設替えは難しいため、費用対効果を勘案しながら効果的な漏水調査、修繕及び管路の耐震化に努められたい。
- ・水洗化率について、烏山中央処理区は他の地域に比べて極めて低く、抜本的な対策が必要であるため、戸別訪問による新規加入者の獲得はもとより、あらゆる方法を検討し水洗化率の向上に尽力されたい。
- ・人口減少や社会情勢の変化等により使用しなくなった施設等について、その所在を明らかにし、適切に管理するとともに、民間による使用を含めた施設の有効活用を図られたい。